

第 72 回中区地域環境審議会会議録

1 日 時 令和 8 年 7 月 15 日（水）午後 2 時 00 分～午後 3 時 10 分

2 場 所 中区役所 6 階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

- 1 号委員 加藤哲征、武田初実、谷口ますみ、谷田耕造、永井康之、中野文子、
林洋子、松浦恵子、森紀樹
- 2 号委員 木村恭子、桑山欣士、吉田宏
- 3 号委員 白瀧正人、服部功、松本晃一
- 4 号委員 金谷明洋、鈴木貴博、林宏一郎

以上 18 名

(2) 事務局

中区保健福祉センター

安福所長、石原保健管理課長、伊藤保健予防課長

西区保健福祉センター公害対策課

大高課長、伊藤課長補佐（規制指導）、福田課長補佐（環境活動推進）

山北主任、米谷技師、市川技師

以上 9 名

(3) 関 係

中環境事業所

中川所長

環境局環境企画部脱炭素社会推進課

高須課長補佐（大規模水素ステーションの整備に係る企画調整）

以上 2 名

4 傍聴者

1 名

5 会議内容

(1) 開会

- ・石原課長から委員の半数以上が出席しており会議が成立していること、傍聴者数は1名の報告があった。
- ・森会長から挨拶があった。
- ・安福所長から挨拶があった。
- ・石原課長から関係者の紹介があった。また、会議録作成のため会議の内容を録音することの了解を求めた。
- ・森会長から、会議録の確認については谷田副会長が指名された。

(2) 議事

議題1 水素エネルギー利活用の推進について

森 会 長 それでは議事に入ります。議題1、水素エネルギー利活用の推進について、関係者の方から説明をお願いします。

高須課長補佐

(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整)

＜資料1に基づき説明＞

森 会 長

はい。ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますでしょうか。

よろしいですか。補助金の話なんですけれども我々とは関係ない個人じゃなくて、いわゆるこの燃料電池バス、これ大体2000万ぐらい補助が出るってことなんですけれども、いわゆる大きなバスは高いってのは何となくわかるのですけれども、普通のバスの値段もわからないし、いわゆる燃料電池バスってのはどのくらいするんでしょうか。

高須課長補佐

(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整)

今お尋ねになった普通のバス、一般的に走っている大型のディーゼル車両なんですけれども、愛知県の算定では大体2300万円ほどとなっております。

これに対して、今廃番になっているのですけれども直近まで販売されておりました燃料電池バスに関しましては、1 億円を超えているようなそういう状況です。

1 億円に対して、例えば国の補助で半額であったり、愛知県の補助で、さらにその4分の1等々の下駄を履くといえますか、補助がございしますので、ただそれでもやっぱり、ディーゼルと比べると、事業者さんの持ち出しがあるということで、足りない部分を本市でも補助金として構えさせていただいているというものでございます。

森 会 長 ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

桑 山 委 員 実はね私は燃料電池自動車を買おうかなと思ってちょっと興味を持ったときがあるのですね。

調べてみると結構ランニングコストというか例えばタンクですね、あれの耐圧試験とか、何年かに1回取り替えなくてはいけないとか、結構厳しいなと思ったのですよね。

一般の乗用車と比べてどうですかね。今のところランニングコストというのは、その整備とかそういうことにかかるのは。

高須課長補佐
(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整)

整備と燃料費とそれぞれあろうかと思いますが、整備に関して申し上げると、お尋ねのガスタンクなのですからけれども、高圧ガス保安法の関係で、最長で15年、最長でも使えるのは15年ということで我々伺っております。

それから、燃料電池のスタック、水素スタックに関しましても、トヨタからの聞き取りによりますと、15年ぐらいは耐用年数を考えているということで聞いておりますが、細かい日常の定期点検ですとか、車検代というところですね。そういったところに関しては、少々お待ちいただけますか。

桑 山 委 員 結構かかっていたような気がしたのですが。

高須課長補佐
(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整)

本市でもですね、導入しているものに関して当然定期的なメンテナンスに出しておりますので、金額の算定は可能かと思っておりますので、ちょっと後日お答えさせていただく形でもよろしいでしょうか。

森 会 長 他によろしいでしょうか。

ステーションは今、葵なんかにありますよね。あれは岩谷と提携してやっていますよね。やっぱり全国どこでもそういう、やっぱり岩谷さんが多いですかね。

高須課長補佐
(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整)

おっしゃる通り提携といいますか、岩谷さんが葵のステーションを運営されています。今機器が故障していて、ちょっとご利用いただけない状況というふうに我々聞いておりますが、名古屋市内で言いますと、岩谷さん、それから日本エア・リキードさんですとか、あと東邦ガスさんがステーションを運営されております。

森 会 長 葵はもうトヨタの土地ですしね。はい。他によろしいでしょうか。

議題 2 令和 7 年度中区における公害苦情処理状況及び環境教育事業について

森 会 長 はい、では続きまして議題 2 の方に参りたいと思います。令和 7 年度中区における公害苦情処理状況及び環境教育事業について、事務局の方から説明をお願いいたします。

伊藤課長補佐 <資料 2-1、2-2 に基づき説明>

森 会 長 はい、ありがとうございました。それではご質問等はございますでしょうか。例年この夏休みとか利用していろいろやっている、恒例のパターンですよ。

伊藤課長補佐 そうですね、昨年度から引き続きやっているものがほとんどでございます。

森 会 長 はい。よろしいでしょうか。

議題 3 令和 8 年度環境局の主な取り組みについて

森 会 長 はい。では続きまして議題 3 の方に参りたいと思います。令和 8 年度環境局の主な取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

大 高 課 長 <資料 3 に基づき説明>

森 会 長 はい。ありがとうございました。質問等ございますでしょうか。

林宏一郎委員 今のお話もそうですし、水素の推進もそうなのですが、取り組みはなきゃないで温暖化はもっと早く進んでしまうだろうから、やらざるを得ないというところがあるのですけども。
実際その、「今やっています、やっています」ということで、もちろんその家庭のエアコン1つとって見ても、大変大切なことではありますが、なかなか測りにくいとは思いますがね。
実際前回の審議会ですと、どのぐらいの推進っていう話が出ていて今回はそういう話がなくて、どちらかというと、やっていますっていう話に終わっているのですけども、実際私達から見ますと、どうなのだろうなあって。今朝ほども 30 何度とかっていう話もございますけども。実際やらなければ、あと 40%ぐらい逆に早く進んでいるよとかですね。なかなかブレーキをかけにくいと思いますが何かそういったところで、お役所の方で持っていращやる情報があればですね、教えていただければありがたいなと。

大 高 課 長 ご質問ありがとうございます。
なかなかですね今言った数値的なものっていうところをお示しできれば、もっと皆さんに取り組んでいただくスピードを上げてもらえるとかっていうところは非常に大事なかなと思っております。
まず啓発させていただいて、効果ですね、見える化っていうところも、今回ちょっと説明させていただいていない項目でも見える化を検討しますといったところもあるのですけども、温暖化が、先ほど今言われたように、やらなかったら実は今こうなっていたよとか、そのあたりが本当にあればわかりやすいと思いますのでちょっとその辺りを環境局の方に伝えさせていただいて、もうちょっとわかりやすい、単純にやりますやりますではなく、数字で伝えられないとか、その辺りのツールみたいなものも、もうちょっとわかりやすい内容で、市民の方に広く周知できる方法っていうのを、ご意見いただいたということを伝えさせていただいて、今後ですねこういった取り組みを進めて、こういった効果がある、やらなかったらこうだったとか、そういったところを皆様に広くお知らせできるように検討していただくようお願いさせていただきます。

林宏一郎委員

ありがとうございます。

こういうなかなか数値を表すことは難しいっていうことはわからないことはない。大きいから。どちらかというと、こういう審議会もそうですけど、皆様が企画していただく会ですね、役所の方がやっていた会も多くは、前回も他の会で、中区にはスーパーが少なくなって、老人の方、買い物に行くのが困るっていう話があったのですけど。そういったその会であがった情報は、例えば、近くのスーパーさんとか、大手のところのスーパーさんとかに現況を伝えて、何か改善を目指せるようなことやってやっているのですかって聞いたら、やっていませんっておっしゃったのでね。

なので、ある意味やっぱりこういった数字に、今お話いただいたように、数値化されて見えると、やっぱり私たちもごみ1つに対しての意識がやっぱり変わるかなと。

他の国のドイツとかっていう話もありますけども、比較的名古屋はごみの処分、選別も難しい、厳しい方に分類があるけれども、2、3回前のこの会で、リサイクル等の、プラスチックごみをどうしていますかって言ったら燃やしていますとおっしゃっているの。燃やすにも何か意義があって燃やしていらっしゃると思いますけども、その辺りも誤解を生まないような、環境に対する行政の取り組み方ですね、そのあたりもしっかりと私たちにも伝えていただくことができれば、より身になるのかなと感じますので、引き続きよろしく願いいたします。

松 浦 委 員

カラスによるごみ散乱防止対策についてお伺いしたいのですが、環境事業所は、改善しない共同住宅に対してボックス型ネットを貸与して注意喚起するっていうふうに書いてあるのですけれども、いわゆる繁華街の飲食店に対しては、そういうことを行っていないのでしょうか。

というのは、私、つい最近、錦通り歩いていてめちゃくちゃびっくりしたんです。とっても汚いです。いかにもカラスがごみを漁った跡もあるし、それから、市民、たぶん若い人だと思うのですけれども、割り箸やら、食べかすの弁当箱がいっぱい散らかっています。ドンキホーテ前から名古屋駅に向かって1区画ぐらい歩いたのですけれどもたまたま、その汚さにちょっとびっくりしました。真っ昼間です。

やはり飲食店が夜中のうちにごみを出しておく。それを、カラスが漁る。そのままにしておくと、若い人とは言いませんけれども、一般の通行人も、何だろう、たばこの吸い殻とか割り箸とかそういうのを横着にむちゃくちゃ横着にしてあるのですよ。そういうところを何とかして欲しいなと思いました。これは市民としての切実な願いです。これから世界からアジアから多くの方が来るというのにこの汚さはなんだと思いました。

中川環境事業所長

今ご質問いただいた件なのですけれども、今、場所としてもですね、多分その栄一番出口付近を歩かれたっていうことかなという風に思います。一般にごみの出し方が、良くなくてということだと、事業者に対する排出指導ということももちろんやっているということと、あとはですね、やはりあのあたりですと、いわゆる、街で遊んでいる人たちが散らかしているということで、錦3丁目の事業者の皆さんも、地元のビルを例えば管理している会社さんなども困ってみえて、清掃活動として我々もご支援させていただくということもやっています。

またちょっとポイ捨ての方ですね。あの辺りが、ちょっとそういうものの推進地区になっていなかったということもありまして、9月にちょっと推進地区に指定させていただいて、たばこの路上禁煙の指導員が、あわせてポイ捨てを指導するというようなことも9月から始めていくということで、課題の方を持っていまして、事業者の方の指導ももちろんしながら、その錦三のあたりで、ごみを捨てる方に対する指導ということも、今一生懸命合わせてやっております。ただいかんせんちょっと量が多くてですねなかなか効果の方がというところの中で、ちょっとやれることを地道にやらせていただいているという状況でございますので、よろしくお願いいたします。

松 浦 委 員

あわせて、清掃のこともちょっと考えていただけたらと思います。とても追いつくものではないと思うのです、汚さは指導だけでは。しかも不特定多数の人がやっていることですから、早朝のボランティアによる清掃とかそういうことも考えていただきたいなと思いました。

中川環境事業所長 今のお話につきましても、地域の錦3丁目の皆さんの方でそういったボランティア団体を作ってみえてやっております、我々も袋をお配りしたり箒とかそういった掃除道具を渡したり、ごみを回収させていただくということもやっております、また、今まで毎月1回とか2回とかっていうところを、アジア大会に合わせて地元の方が（回数を増やして）やってくださると聞いておりますので、我々の方も一生懸命それに協力していきたいというふうに考えています。

松 浦 委 員 ありがとうございました。

森 会 長 他によろしいでしょうか。

金 谷 委 員 新堀川の井戸の件なんですけれど、これはもう稼働していることなのではないでしょうか。

大 高 課 長 今、稼働しております。

金 谷 委 員 それで稼働してどのくらい経つのでしょうか。

大 高 課 長 まだそんなに経っておりませんので、水質も測定して今後、改善していけるのかどうかというのも検証していくという予定をしております。

金 谷 委 員 それで何をもって綺麗になったということで、川の上流、中流、下流というところで何かポイントを作って、検証する形なのではないでしょうか。

大 高 課 長 これまでも測定はしておったのですが、上流部分が一番悪臭の発生が高いというところだったので、前にも出させていただいているのですが、舞鶴橋で一番上のところの橋で水質の測定を予定しているところです。

金 谷 委 員 これって結局上流がなくて、源流がないわけじゃないですか。

これは堀留橋の先に雨水タンクか何かありますよね。洪水用の何か貯める。ああいう水を何か利用して、排出するっていうことはできないでしょうか。

大 高 課 長 今回予定しているのはその地下水で押し流すというよりは、過去の調査で、底の水質に酸素が少ないので硫化水素が発生しやすいというところを突き止めましたので、まずその原因を地下水で低層の方に酸素を送り込んでその硫化水素の発生を止めたいというところですので、今ご意見いただいた、たくさんの水で押し流せるかっていうところは、またちょっとできるのかなと。

金 谷 委 員 定期的に流したりするのがいいのかなと。そこに余計な水っていうわけじゃないのですけれど、余裕のある水があるのであれば、結局堀川が上流から分岐して水を流すのと一緒に、そういう形をとれたらいいのではないかなと思うのですけど。

大 高 課 長 ご意見ありがとうございます。
まず今回は、先ほどの硫化水素の発生を止める方法でいくので、これを検証させていただければと思うのですけども、今後これがうまくいかなかったら、次の段階として他のどこかから導水、水を持ってきてというところは、次の検証フェーズかなと思いますので、今いただいたご意見も本日、環境局の方に伝えさせていただいて検証させていただきたいと思います。

金 谷 委 員 ありがとうございます。

森 会 長 はい。他によろしいでしょうか。

林宏一郎委員 ごめんなさい時間も押してきますので、同じようなお話ですが、新堀川は今の計画の中で、その処理場で大きい雨が降ったときに処理しきれないとバーッと流しちゃうのでまた悪いのが出るわけで、臭いのとか含めて出るわけですね。
それは最終の処理場、港区の方でしたっけね。今汚水の処理施設の稼働のサイズを上げる計画があって、地下道掘ってズドンとそこまで全部持って行って堀留の今のところなくす計画があったはずですけどあれは、どんな感じなのですか。進んでいますか。

大 高 課 長 詳しい計画はちょっと今把握しておりませんが、一応堀留が廃止するという方向は聞いておるところです。

林宏一郎委員 せっかくなので、今度議事録に上げていただくようなときにですね参考資料でアップロードしていただく、現状どうなっているかっていうのがわかると。昨年度でしたかね、そういうお話が出ましたので。

大 高 課 長 またちょっと資料をご用意させていただき、後日説明させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

林宏一郎委員 報告だけで結構なので、議事録載せていただければありがたいです。

森 会 長 はい。ありがとうございます。質問よろしいでしょうか。

議題 4 その他 三の丸地区における雨庭の試験整備について

森 会 長 それでは続きまして議題 4 その他 三の丸地区における雨庭の試験整備について、事務局からお願いいたします。

伊藤課長補佐
(規制指導) <資料 4 に基づき説明>

森 会 長 はい。ありがとうございました。これは前にも紹介があつて完成したというものです。質問よろしいでしょうか。本日の議題はこれで終了いたしました。全体を通して質問よろしいでしょうか。はい。どうぞ。

高須課長補佐
(大規模水素ステーション
の整備に係る企画調整) 時間が押しているなか大変恐縮ではございますが、先ほど桑山委員からお尋ねいただきました、燃料電池自動車のランニングコストにつきましてちょっと資料見つけましたので、お答えをさせていただきます。
まずランニングコストの中で整備費についてお尋ねだったかと思いますが、タンクそれから燃料スタックについては先ほどお答えさ

せていただいた通りなのですけれども、直近の点検費用等出てきましたのでお答えさせていただきます。

車検がある年ですね、5 年目、つまり 2 回目の車検になるかと思うのですけれども、そちらですね令和 6 年度に、8 台分車検に出しております、その時の平均費用が 14 万 1000 円あまりとなっております。

それから車検のない年、12 ヶ月の任意点検にも出しております、こちらが 3 万 1000 円余、いずれも 8 台の平均となっております。ちょっと直近の事例のみになりまして恐縮ですが乗用車ぐらいの車検に関しては例えば、水素車特有のですね、タンクの点検等ございますので、若干気持ち高めなのかなといったところかと思えます。

あわせてランニングコストの中でもう 1 つ燃費についても調べられましたのであわせてお答えさせていただきます。

水素の場合は 1 キログラム当たりの走行になりますので、なかなか横並びで比較が難しいところなのですけれども、例えば同じ車格のクラウンで比べますと、ハイブリッド車が 1 キロ走るために、8.7 円かかっているのに対しまして、F C 車ですと 13.4 円ということで、大体 1.5 倍ぐらい。同じ車格の車で比べますと 1.5 倍ぐらいという数値を我々、試算しておるところでございます。

森 会 長

はい、ありがとうございました。では、最後に事務局の方からの連絡事項をお願いいたします。

伊藤課長補佐
(規制指導)

はい。最後にですね 3 点ご連絡差し上げます。

まず 1 点目でございますけれども報酬につきましては、以前登録いただきました口座に会議終了後、2 週間前後で振り込まれる予定でございます。

2 点目でございますけれども、次回の会議は会議次第下段に記載しました通り、来年ですね、1 月 20 日水曜日で予定しております。

委員をですね継続してお願いする皆様方におかれましては、ご予定のほどよろしくをお願いいたします。また期日が近くなりましたら、開催のご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

また今回の会議で最後になられる委員の皆様方におかれましては、2 年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

最後に、本日お配りした名水でございますけれども、上下水道局から、災害用備蓄飲料水としていただいております。飲まれていない方は、ぜひご自宅にお持ち帰りいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

森 会 長 はい。それでは、これで会議を終了いたします。本日はお忙しい中円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。お疲れ様でした。

(閉会)

調製者 中区地域環境審議会会長 森紀樹

確認者 中区地域環境審議会副会長 谷田耕造